

挑戦する2学期に！

新型コロナウイルスの影響で、4日間短縮になり、様々な行事等も延期や中止になった「特別な夏休み」が終わり、2学期が始まりました。2学期の始業式の中で、1学期の終業式で子ども達にお願いをした2つのことを確認しました。

1つは、夏休み中も、家庭や地域で元気な「あいさつ」をすることです。2つ目は、お手伝いではなく、自分の1つ「仕事」を決めて毎日続けてすることです。1つ目の「あいさつ」は、ほとんどの子ども達が「できた」と挙手しました。おうちの方、地域の方の評価は、どうでしょうか？

続けて、2つ目の「仕事」について尋ねてみると、これまたほとんどの子ども達が「できた」と挙手しました。みんな自信に満ちた顔で挙手していました。そこで、続けざまに、「では、どんな仕事をしたかを、みんなの前で発表してくれる人」と尋ねると、ほぼ全員がすぐに挙げていた手をおろしました。さっきまでの自身に満ちた顔が、みるみるうちにうつむき加減になりました。私の予想通りです。再度、「仕事のできた人」と聞くと、今度は自信なげに挙手しました。なかには、手を挙げない子どももいました。再度「どんな仕事をしたかみんなの前で発表してくれる人」と尋ねると、今度は6年生が2名ほど手を挙げたままでした。他の子ども達は、また手をおろしました。6年生の一人に発表してもらいました。そして、「仕事」をやり続けることができたことを褒めました。それ以上に、みんなの前で発表できたことを褒めました。

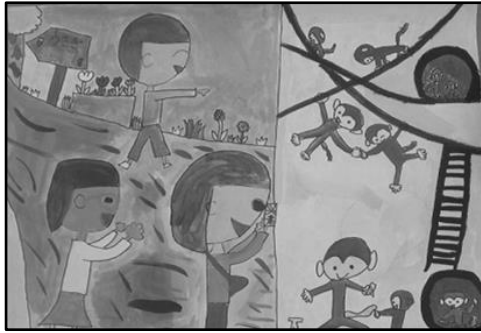
家庭教育学級でもお話しましたが、「人前で自分の考えを発表する。」ということは、大人でも結構勇気がいります。なぜ、勇気がいるのでしょうか？それは、子ども達にも話しましたが、「うまく言えなかったら…」「もし、笑われたら…」等等、失敗のイメージが先にくるからではないでしょうか。しかし、失敗を恐れて挑戦しなかったら、いつまでも現状のままです。人は失敗からたくさんの事を学びます。挑戦しないで失敗を回避するより、挑戦して、たくさん失敗して学んで欲しいです。特に子ども時代は。

「発表に限らず、失敗を恐れず、いろいろな事に挑戦する2学期にしていきたいと思います」と話したところです。2学期のキーワードは「挑戦」です！

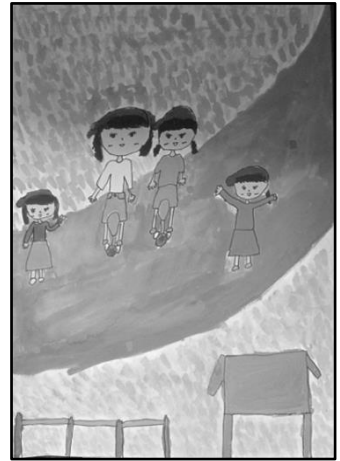




【子牛が生まれた】
【4年 若杉 一花 さん】



【すごいおさる】
【4年 甲斐 彩乃 さん】



【一輪車で新しいわざを覚えた】
【4年 黒川 萌子 さん】



【かがやくホタル】
【4年 羽賀 唯織 さん】



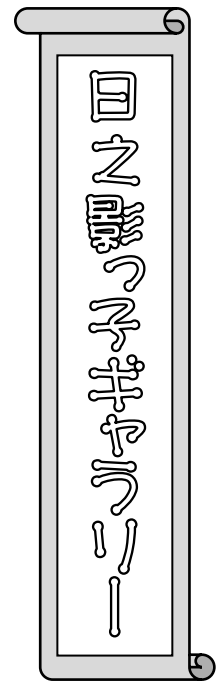
【クロール】
【4年 佐藤 愛華 さん】



【じいちゃんに会えた】
【4年 拔屋 成美】



【大きな川とホテルの映(ば)え】
【4年 甲斐 美衣】



4年生特集

9・10月の主な行事予定

9月 1日 (火) 運動会結団式	10月16日 (金)
9月 4日 (金) 参観日 (5・6校時)	高学年集合学習、スポーツフェスタ⇒中止
9月17日 (木) 運動会予行練習	10月23日 (金) 町小中学校音楽祭⇒中止・放送
9月25日 (金) 振替休業日 (9/26分)	10月24日 (土) ~ 25日 (日)
9月26日 (土) 運動会前日準備	小中学校作品展 (宮水小体育館)
9月27日 (日) 運動会	10月28日 (水) 3年生社会科見学⇒中止
9月28日 (月) 振替休業日 (9/27分)	※ 予定は変更になる場合があります。

